

# iOSホーム画面レイアウト設定 おすすめ設定手順書

**KDDI株式会社**  
**2018/11/09**

# 改版履歴

## 履歴

バージョン	修正内容	日付
初版		2018/10/4
Var.1.1	新UIデザインにともなう画像の修正	2018/11/9

# iOSホーム画面レイアウト

## 機能概要

iOS端末のホーム画面レイアウトを管理者から指定及び固定し、キッティング作業と、運用の手間を削減します。

## 利用シーン

- ・学校の場合：Shared iPad（AppleSchoolManagerのご契約が必要です）で運用する際など、生徒の画面レイアウトが固定されているため先生からアプリケーションの場所が把握でき、より円滑に授業を進行することが可能になります。
- ・企業の場合：複数人が共有で使用するiPadなど、どの端末を使用しても同じ状態で使いはじめることができるため、使いたいアプリケーションをすぐに見つけることができます。

## 注意事項

本機能の設定セットを適用すると、アプリケーションの位置を指定している・いないに関わらず、**端末側でアプリケーションの移動・削除・フォルダーの作成は一切行うことができません。**

※プリインストールアプリケーション、手動インストールアプリケーション含む



大量の端末へ  
同じ画面レイアウトを指示

### 利用条件

- ・ iOS 9.3以上のiPhone/iPad
- ・ 監視対象モード

Aグループ向け  
画面レイアウト

Bグループ向け  
画面レイアウト

グループ毎の  
設定も可能！

# iOSホーム画面レイアウト - 補足 1/2

## Dockとは？

ホーム画面一番下にアプリケーションアイコンを配置できる部分をDockといいます。

## Pageとは？

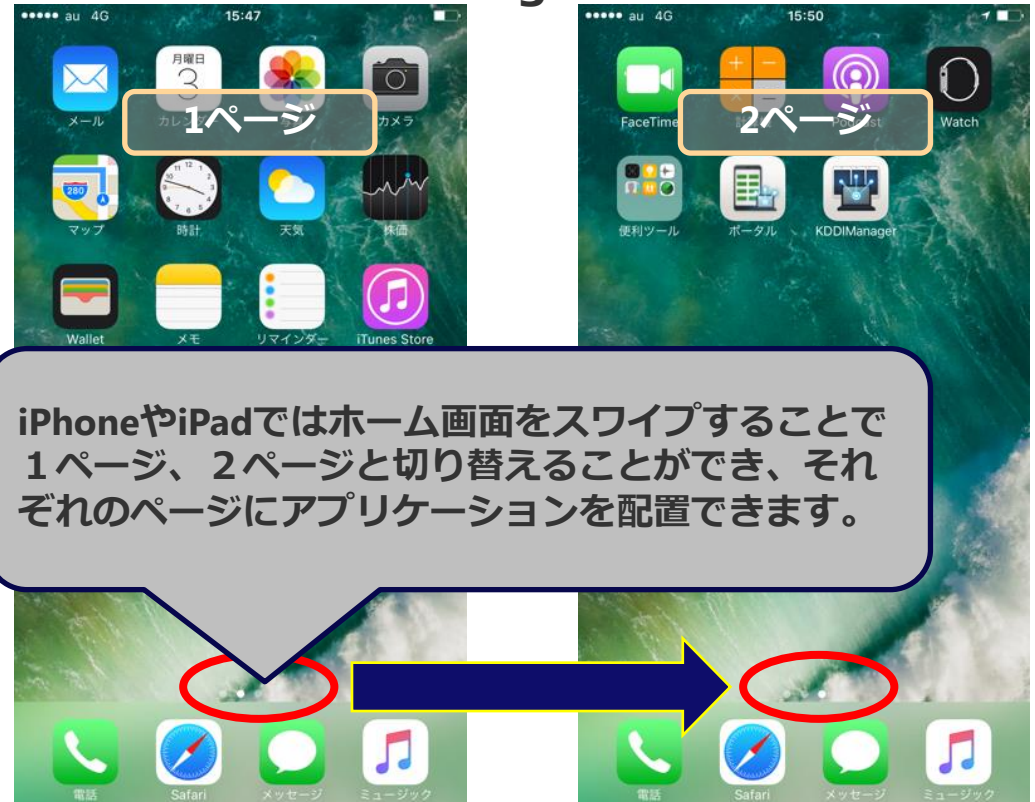
ホーム画面を複数画面作成でき、それぞれのホーム画面をPageといいます。

<Dock>



iPhoneやiPadで画面一番下にアプリケーションアイコンを配置できます。ホーム画面をスワイプしても同じアイコンが表示されるため、一般的によく利用するアプリケーションをここに配置します。

<Page>



iPhoneやiPadではホーム画面をスワイプすることで1ページ、2ページと切り替えることができ、それぞれのページにアプリケーションを配置できます。



# iOSホーム画面レイアウト - 設定画面 1/4

## 設定画面

設定 > iOS > 便利機能 > 「ホーム画面レイアウト」の項目をクリック。

「ホーム画面レイアウト」の設定にて+マークで新規作成画面を出し、任意の設定名を入れて保存すると、以下のような画面が出ます。

### <ホーム画面レイアウト設定画面>

設定

操作 ▾

設定

設定名  
iOSレイアウト

編集

Dock

※アプリやフォルダーが指定されていません。

編集

Page 1

※アプリやフォルダーが指定されていません。

削除 編集

Page 2

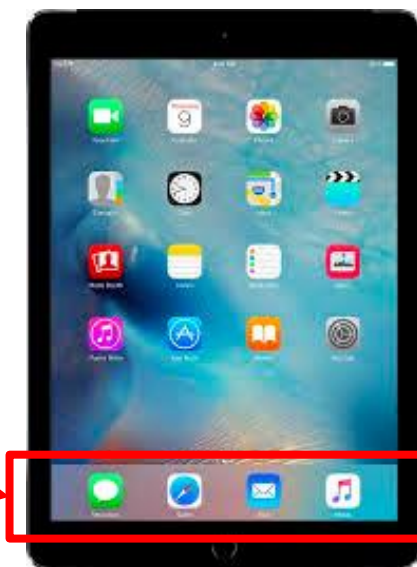
新規作成

任意の設定名を入れて下さい。

Dockの設定を行います。

ホーム画面1ページ目のアプリケーション配置設定を行います。

2ページ目以降の設定を追加したい場合は、新規作成ボタンを押下してください。最大15ページ分の設定が可能です。



# iOSホーム画面レイアウト - 設定画面 2/4

## Dock設定

Dock設定の編集ボタンを押下すると、1~6までの行が並んでおり、「なし」「アプリケーション」「フォルダー」のいずれかを選択することができます。この1~6の番号はDockの左から①~⑥を表しています。

※ iPhoneの場合、Dockに配置できるアプリケーションは4つまでですのでご注意ください。

⑤、⑥を設定しても端末へ反映されません。

※ 空欄を作ることはできません。間に(なし)を残したまま設定を保存しても、詰めた状態で保存されます。

### <Dock設定画面>

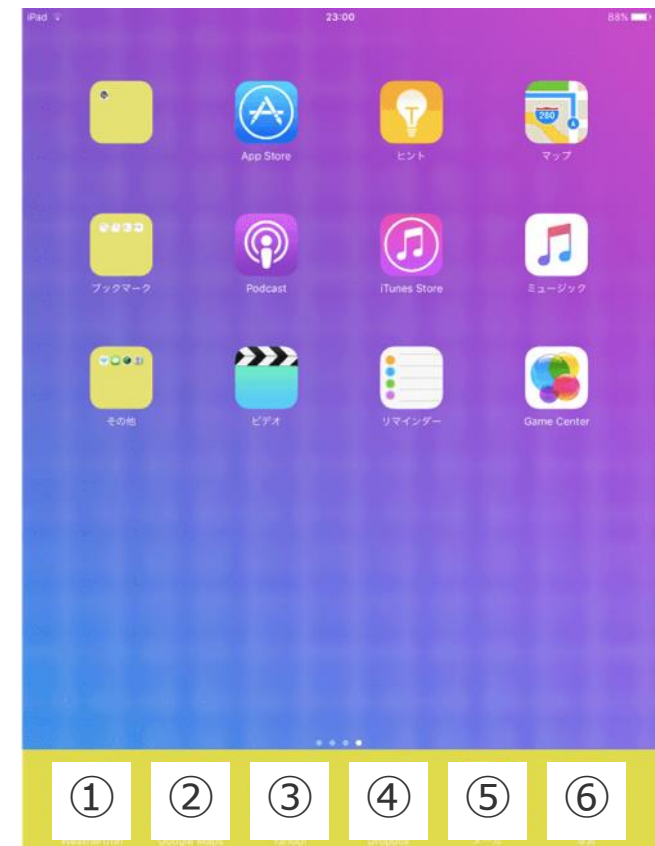
設定 - 編集  
Dock

番号	設定	アプリケーションID
1	アプリケーション	com.apple.AppStore
2	(なし)	
3	(なし)	
4	(なし)	
5	(なし)	
6	(なし)	

※ホーム画面に配置するアプリケーションまたはフォルダーを指定してください  
※iPhone端末に配置できる数は4つまでです。  
※プリインストールアプリのアプリケーションIDはこちら

取消 保存

### <Dock設定の番号配置>



## Dock設定

- ・「アプリケーション」を選択した場合、右側の欄にアプリケーションIDを入力してください。
- ・「フォルダー」を選択した場合、
  1. 右側に編集ボタンが表示されますので、押下してください。
  2. 以下の画面が表示されますので、フォルダー名、アプリケーションIDを入力してください。1つのフォルダーの中に最大16個までアプリケーションを指定することができます。

### <フォルダー設定画面>

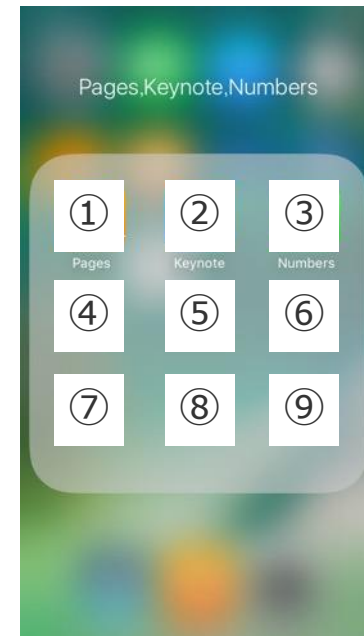
フォルダー

フォルダー名  
Apple

1	アプリケーション	アプリケーションID com.apple.AppStore
2	アプリケーション	アプリケーションID com.apple.calculator
3	(なし)	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14	(なし)	
15	(なし)	
16	(なし)	

※プリインストールアプリのアプリケーションIDはこちら

### <フォルダーの番号配置>





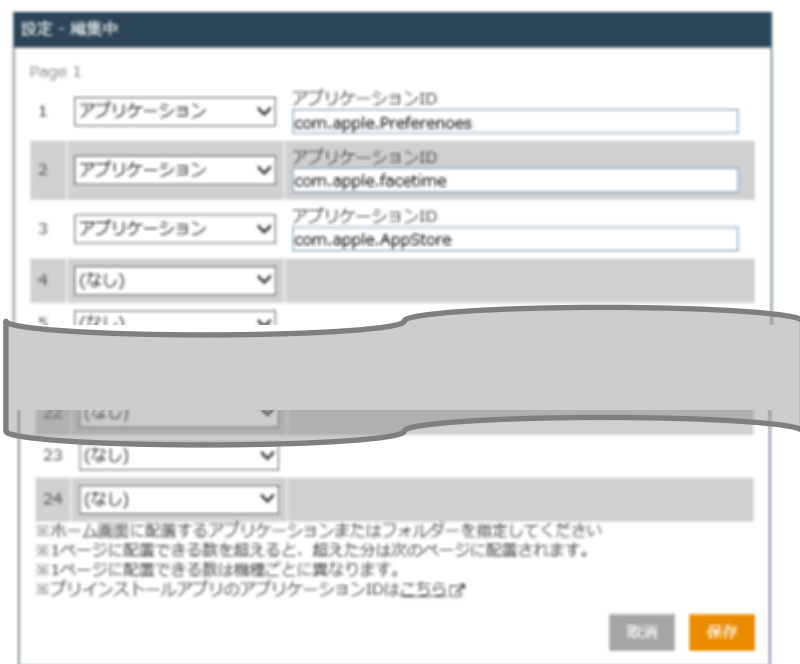
# iOSホーム画面レイアウト - 設定画面 4/4

## Page設定

Page設定の編集ボタンを押下すると、1~24までの行が表示され、アプリケーションを指定することができます。空のページは作成できません。

Dock設定同様、アプリケーションを選択した場合はアプリケーションIDを、フォルダーを選択した場合は編集ボタンを押下し、フォルダー内に配置するアプリケーションを指定してください。

### <Page設定画面>



### <Page設定の番号配置>



- 画面の向きによって、並ぶアイコン数は異なります。
- 画面の向きはKDDI Smart Mobile Safety Managerから制御することはできません。

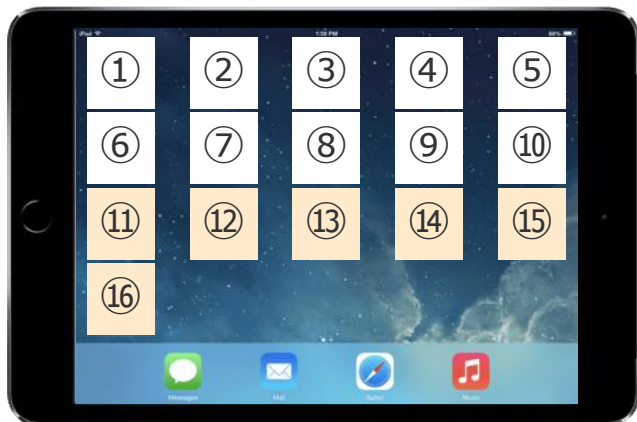
# iOSホーム画面レイアウト - おすすめ設定手順 1/3

## おすすめ設定手順

iOSホーム画面レイアウトの設定手順について、推奨手順をご案内します。

### <補足>

- ・本機能でレイアウト指定したアプリケーション以外は、レイアウト指定したアプリケーションの後ろにすべて並びます。



例えば、①～⑩が本機能で設定したアプリケーションの場合、⑪以降は一定のアプリケーションタイトル順でインストールしたアプリケーションが並び、

- ・アンインストールする
- ・並び替え
- ・フォルダーに入れる

などの操作を行うことはできません。

使用できるアプリケーションを制限せずに本機能を利用すると、利用者の利便性を損なう恐れがあります。

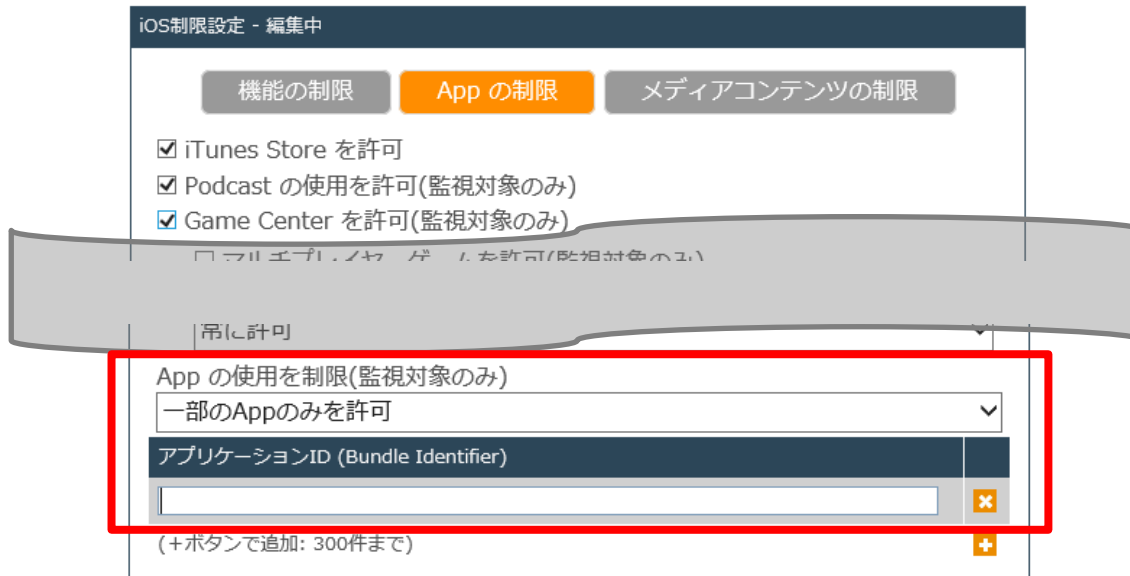
そのため、**アプリケーション禁止設定(ホワイトリスト)指定と、併せてご利用になることをおすすめいたします。**

# iOSホーム画面レイアウト - おすすめ設定手順 2/3

## おすすめ設定手順

1. 手元にサンプル端末を用意し、ユーザーへ配布する端末へ設定したいレイアウトと同じ状態にします。
  - ・ユーザーが利用しないアプリケーションは別ページに分けておきましょう。
  - ・業務や授業で使用するアプリケーションはインストールしておきましょう。
2. 使用するアプリケーションをホワイトリスト設定します。  
1で別ページに分けたアプリケーションを禁止するために、下記の設定を行きましょう。

設定 > iOS > 構成プロファイルアップロード > iOS制限設定 > Appの制限 内に「Appの使用を制限(監視対象のみ)」がありますので、ここで利用を許可するアプリケーションをホワイトリストで指定します。



## おすすめ設定手順

3. ホーム画面レイアウト設定を行います。

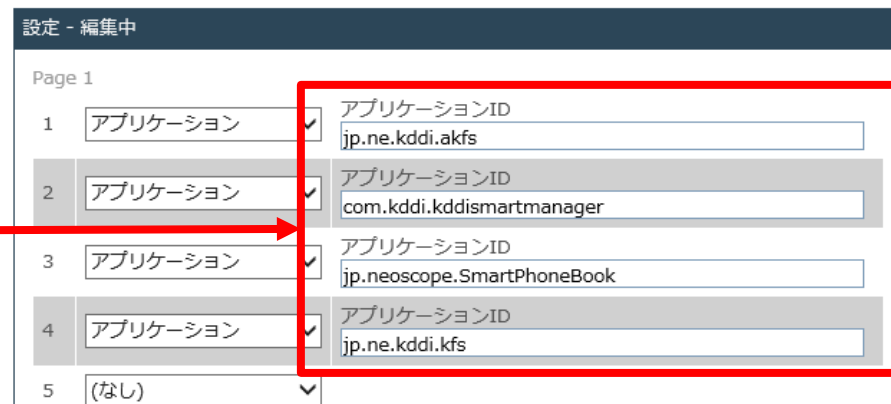
サンプル端末と対応する番号を確認しながら、アプリケーションやフォルダーの設定を行います。プリインストールアプリケーションのアプリケーションIDは、設定画面上のリンクから一覧で確認できます。それ以外のアプリケーションは、アプリケーションレポートを使ってサンプル端末内のアプリケーションIDを確認する方法がおすすめです。

※ この方法はアプリケーション禁止設定でも活用できます。

### <Page設定画面例>

### <アプリケーションレポート例>

	A	B	
1	[i]アプリケーション名	[i]パッケージ名/アプリケーションID	[i]
2	File Storage	jp.ne.kddi.akfs	
3	KDDIManager	com.kddi.kddismartmanager	7.5
4	SMARTアドレス	jp.neoscorp.SmartPhoneBook	2.0
5	KDDI Storage	jp.ne.kddi.kfs	1.1



4. サンプル端末以外に設定し、動作を確認しましょう。

想定通りになっていたら、組織などに設定セットを適用し、対象のすべての端末へ設定を行います。

# iOSホーム画面レイアウト – ログ、カラム追加 1/2

## ログ追加

本機能に関連するログは以下の通りです。  
発生日時、受信日時はこれまで通り表示されます。

契機	ログ内容
設定作成	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウトの設定「(設定名)」を作成しました。
設定更新	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウトの設定「(設定名)」を変更しました。
設定名更新	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウトの設定「(旧設定名)」を「(新設定名)」に変更しました。
設定削除	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウトの設定「(設定名)」を削除しました。
設定一括削除	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウトの設定を一括削除しました。 「(設定名1)」, 「(設定名2)」, ...
Pageの追加	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウト「(設定名)」のPageを作成しました。
Dockの更新	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウト「(設定名)」のDockを変更しました。
Pageの更新	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウト「(設定名)」のPageを変更しました。
Pageの削除	(ログインユーザー)がホーム画面レイアウト「(設定名)」のPageを削除しました。

## CSVカラム追加

本機能追加に伴い、機器CSV・組織CSV・管理外機器CSVファイルにそれぞれ下記のカラムが追加されます。

これにより、CSVでまとめて機器や組織に対して、ホーム画面レイアウトの設定を行うことが可能です。

- [S:iOS]ホーム画面レイアウト
- [S:iOS]ホーム画面レイアウト(継承)

**Q : ホーム画面レイアウト設定を解除するとアプリケーションの配置はどのようになりますか？**

A : ホーム画面レイアウト設定を解除するとホーム画面レイアウト設定を適応する前に戻ります。設定適応中にインストールしたアプリケーションについては、設定を外すと一番後ろにアプリケーションが並びます。  
なお、フォルダ設定なども元に戻ります。

**Q : 場所を指定していないアプリケーションは、アプリケーションタイトル順に並ぶとのことだが、アプリケーションタイトル順とはどのような順番ですか？**

A : 以下のとおり、アプリケーション名先頭文字の順番で表示されます。

1.数字

⇒ 数字の中でも、0～9の順番で配置

2.アルファベット

⇒ アルファベットの中でも大文字小文字の区別なく a ~ zの順番で配置

3.かな、カナ、𛄀

⇒ かな、カナ、𛄀の区別なく、50音の順番で配置

4.漢字

⇒ 読みの順番となるようですが、iOSの仕様に寄るため正式な仕様は不明です。

**Q : レイアウト設定されたアプリケーションが端末にインストールされていない場合、そのアプリケーションの位置は詰められて配置されるのですか？  
また、上記状態でアプリケーションを配信、インストールすると当初指定されたところに並ぶのですか？**

**A :** 対象アプリケーションがインストールされていない場合、そのアプリケーションの箇所は詰められて表示されます。  
ただしページ指定している場合は、そのページ内で詰められますので、意図しないページにアプリケーションが並ぶことはありません。  
この状態でレイアウト指定したアプリケーションを配信した場合、当初指定された箇所にアプリケーションが並ぶようになります。

**Q : KDDI Smart Mobile Safety ManagerのポータルやWebクリップの位置は指定できますか？**

**A :** ポータルやWebクリップはホーム画面レイアウト設定で位置を指定できません。  
また、設定で指定できる上限数を超えた場合のアプリケーションも同様です。  
それらは指定されていない空間にタイトル順で強制的に並びます。  
※並び順は本資料P12にあるQAをご参照ください。





# Quality Cloud